






教材・支援機器活用実践事例【ICT】

自己理解や他者理解を深めるための ICT 活用 「自己紹介や友達紹介のプレゼンテーション編集・発表」

| | | |
|-----------------------------------|---------------------------|--|
| 子どもについて | 所属・学年 | 特別支援学校・高等部1年 |
| | 障がい名等 | 知的障がい |
| | 子どもの実態 (学习上又は生活上の困難さ等) | <ul style="list-style-type: none"> ・文章を書くことが苦手である。書き間違いを何度も修正するため、時間がかかる。 ・言語指示を理解するまでに時間がかかる。 ・話すことが苦手で、発表することに抵抗がある。 |
| 授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面) | 教科名等 | 職業・家庭 |
| | 単元(題材)名 | 単元名「伝えよう自分のこと、クラスのこと」 |
| | 単元(題材)の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介や友達紹介のプレゼンテーション編集・発表を通して、互いの良さに気づき、自己理解や他者理解を深めようとする。 |
| 教材・教具支援機器について | 教材・教具支援機器 | <ul style="list-style-type: none"> ・Keynote(プレゼンテーションソフト。写真の加工や動画の編集などの標準アプリと組み合わせることで様々な用途に使用できる。)      |
| | ねらい・工夫点 | <p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介や友達紹介のプレゼンテーションスライドを編集し、発表する。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に編集したい事柄をまとめておき、編集に集中できるようにした。 ・タブレット端末に文字入力することで、手書きでの負担感なく作成できるようにした。 |
| | 材料・作成方法等 | タブレット端末 |
| 子どもの変容や評価 | | <ul style="list-style-type: none"> ・操作しやすいことで、内容の向上に集中して取り組むことができた。 ・互いの編集した動画を視聴して、自分や他者の長所に目を向けることができた。 |